

授業計画(シラバス)

科目名		衛生管理		指導担当者名		松本 拓郎	
実務経験		美容師実務経験 8年				実務経験： 有	
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数(通年)		1年次前後期合計50時間(2年間合計90時間)		週時間数		2時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な環境衛生・衛生管理技術の知識を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター「衛生管理」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション		自己紹介・科目の説明			
	2	1篇 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要 1節 公衆衛生の意義と課題		テキストP7～ ①公衆衛生とはなにか			
	3	2節 公衆衛生発展の歴史		テキストP9～ ①欧米と我が国の公衆衛生の歩み ②消毒法の歴史			
	4	3節 理容師・美容師と公衆衛生		テキストP15～ ①歴史の中の美容師と公衆衛生 ②公衆衛生と美容師			
	5	4節 保健所と理容業・美容業		テキストP17～ ①保健所と美容業の関係			
	6	2章 保健 1節 保健		テキストP20～ ①母子保健 ②成人・高齢者保健 ③精神保健			
	7	2編 環境衛生 1章 環境衛生 1節 環境衛生の概要		テキストP41～ ①環境衛生の内容 ②目的と意義 ③環境衛生活動			
	8	2節 空気環境		テキストP46～ ①空気と環境 ②温度・湿度・気流と健康			
	9	3節 衣服・住居の衛生		テキストP53～ ①衣服の衛生 ②住居の衛生			
	10	4節 上下水道		テキストP60～ ①上水道 ②下水道 ③廃棄物			
	11	5節 衛生害虫とネズミ		テキストP65～ ①衛生害虫 ②ネズミ			
	12	6節 環境保全		テキストP69～ ①水質汚濁			
	13	中間テスト					
	14	中間テスト 回答・解説		中間テストの問題の解答・解説			
	15	3編 感染症 1章 感染症の総論 1節 人と感染症		テキストP73～ ①感染症発見の歴史 ②感染症と法律 ③感染症の分類			
	16	2節 病原微生物①		テキストP82～ ①微生物の種類 ②微生物の形と大きさ			
	17	2節 病原微生物②		テキストP83～ ①微生物の構造 ②微生物の増殖と環境の影響			
	18	3節 感染症の予防①		テキストP88～ ①微生物の病原性と人体の感受性 ②汚染、感染及び発病 ③常在細菌叢			
	19	3節 感染症の予防②		テキストP92～ ①免疫と予防接種 ②感染症発生の要因 ③感染症予防の3原則			
	20	感染症の振り返り		まとめプリント			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		衛生管理		指導担当者名		松本 拓郎	
実務経験		美容師実務経験 8年				実務経験:	有
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義:○		演習:		実習:	
実技:							
時間数(通年)		1年次前後期合計50時間(2年間合計90時間)		週時間数		2時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な環境衛生・衛生管理技術の知識を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター「衛生管理」					
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	2章 感染症の各論 1節 理容・美容と感染症		テキストP103～ 感染症の基礎知識の重要性			
	2	2節 主な感染症①		テキストP104～ 空気・飛沫を介して感染する感染症			
	3	2節 主な感染症②		テキストP113～ 飲食物を介して感染する感染症			
	4	2節 主な感染症③		テキストP116～ 血液等を介して感染する感染症			
	5	2節 主な感染症④		テキストP121～ 動物・節足動物を介して感染する感染症			
	6	3節 具体的な対策の例①		テキストP123～ ①標準予防策 ②咳のある客への対応			
	7	3節 具体的な対策の例②		テキストP125～ ①病変の皮膚をもつ客への対応 ②嘔吐をした客への対応			
	8	中間テスト対策 練習問題		プリント準備			
	9	中間テスト対策 練習問題 回答・解説		中間テスト対策 練習問題の回答・解説			
	10	中間テスト					
	11	中間テスト 回答・解説		中間テストの問題の解答・解説			
	12	4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論 1節 消毒とは		テキストP129～ 病原微生物と非病原微生物			
	13	2節 消毒の意義		テキストP132～ 汚染、感染、発病と消毒の意義 ②殺菌、消毒、滅菌、防腐の定			
	14	3節 理容・美容の業務と消毒との関係①		テキストP135～ 消毒に関連のある法の規定			
	15	3節 理容・美容の業務と消毒との関係②		テキストP138～ 消毒を怠った場合の危険性と美容師の責任			
	16	4節 消毒法と適用上の注意①		テキストP141～ 消毒法の種類			
	17	4節 消毒法と適用上の注意②		テキストP142～ 消毒(殺菌)に必要な条件			
	18	4節 消毒法と適用上の注意③		テキストP146～ 病原微生物の抵抗力			
	19	4節 消毒法と適用上の注意④		テキストP146～ 消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名	保健		指導担当者名		渡辺 拓哉	
実務経験	美容師実務経験 9年				実務経験:	有
開講時期	前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法	講義:○	演習:		実習:		実技:
時間数(通年)	1年次前後期合計50時間(2年間合計90時間)		週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な人体・皮膚の知識を習得する。					
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「保健」					
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション		自己紹介・科目の説明		
	2	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 ①人体各部の名称 ②頭部、顔部、頸部の体表解剖学		テキストP12～ 人体各部の名称・頭部・顔部・頸部について等		
	3	第2章 骨角器系 ①骨の種類と構造 ②骨の連結		テキストP22～ 骨の各名称・骨の連結の種類等		
	4	③骨角器系とそのはたらき		テキストP26～ 頭蓋・脊柱・上肢骨・下肢骨・胸郭等		
	5	第3章 筋系 ①筋の種類とその特徴 ②主な骨格筋とそのはたらき		テキストP30～ 筋の種類・全身の骨格筋の名称等		
	6	③表情筋と表情運動 ④理容・美容の作業と筋疲労		テキストP34～ 表情筋の種類・筋疲労について等		
	7	第4章 神経系 ①神経系のなりたち ②中枢神経系とそのはたらき		テキストP38～ 中枢神経系と末梢神経系とは・中枢神経系のはたらき		
	8	③末梢神経とそのはたらき		テキストP40～ 末梢神経系のはたらき・交感神経と副交感神経の効果		
	9	第5章 感覚器系 ①視覚 ②聴覚		テキストP42～ 視覚の仕組み・聴覚の仕組み		
	10	③平衡感覚 ④味覚		テキストP45～ 平衡感覚・味覚の仕組み		
	11	⑤嗅覚 ⑥皮膚感覚		テキストP47～ 嗅覚・皮膚感覚の仕組み		
	12	中間テスト対策		テキスト、対策プリント使用 中間テストに向けた復習		
	13	中間テスト				
	14	中間テスト 回答・解説		中間テストの問題の解答・解説		
	15	第6章 血液・循環器系 ①血液のあらまし		テキストP48～ 血球成分の種類(赤血球・白血球・血小板)等		
	16	②血液循環の仕組み		テキストP50～ 心臓・血管の各名称等		
	17	③血液の循環経路		テキストP52～ 大循環、小循環・門脈循環の経路等		
	18	④心臓と血管のはたらき		テキストP53～ 血圧・最高血圧・最低血圧脈拍について等		
	19	⑤リンパ管系の仕組みとはたらき		テキストP54～ リンパ管・リンパ節・リンパ球について等		
	20	第7章 呼吸器系 ①呼吸器系のあらまし		テキストP56～ ガス交換・呼吸器系の各名称等		
履修上の留意点 出席率が80％に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない						

授業計画(シラバス)

科目名	保健	指導担当者名	渡辺 拓哉
実務経験	美容師実務経験 9年		実務経験: 有
開講時期	後期(通年)	対象学科学年	美容学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	1年次前後期合計50時間(2年間合計90時間)	週時間数	2時間
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な人体・皮膚の知識を習得する。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「保健」		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	②気道	テキストP56～ 気道・鼻腔・喉頭・気管と気管支について等
	2	③肺の仕組みとガス交換	テキストP58～ 肺胞、肺の仕組みについて等
	3	④呼吸運動	テキストP59～ 肋間筋・横隔膜・肺活量について
	4	第8章 消化器系 ①消化器系のあらまし	テキストP60～ 消化管・消化腺・消化器・消化酵素について等
	5	②消化管の仕組み	テキストP61～ 口腔、唾液腺、食道、胃、腸の各名称
	6	③消化管のはたらき	テキストP64～ 咀嚼、嚥下、胃腸の運動について
	7	④消化と物質代謝	テキストP65～ グリコーゲン、消化酵素の種類等
	8	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
	9	中間テスト対策	テキスト、対策プリント使用 中間テストに向けた復習
	10	中間テスト	
	11	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説
	12	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
	13	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
	14	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
	15	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
	16	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
	17	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
	18	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
	19	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名		香粧品化学		指導担当者名		渡辺 拓哉	
実務経験		美容師実務経験 9年				実務経験： 有	
開講時期		後期		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習： 実技：	
時間数		1年次30時間(2年間合計60時間)		週時間数		2時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な香粧品の成分等の知識を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター「香粧品化学」					
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	1節 香粧品の社会的意義と品質特性 ①香粧品の社会的意義 ②香粧品の品質と必要条件		テキスト P9～ 香粧品の特性について等			
	2	2節 香粧品の規制 ①香粧品の定義 ②香粧品の製造販売の規制		テキスト P12～ 香粧品の定義、医薬品医療機器等法について等			
	3	③香粧品の品質等の規制 ④香粧品の表示・広告の規制		テキスト P18～ 薬機法による規制について等			
	4	3節 香粧品の安定性と取り扱い上の注意 ①香粧品の安定性		テキスト P23～ 香粧品の安定性について等			
	5	②香粧品の経時変化 ③香粧品の使用上、取り扱い上の注意		テキスト P23～ 香粧品の経時変化、取り扱い上の注意について等			
	6	4節 香粧品と安全性 ①香粧品と安全性		テキスト P27～ 香粧品の安全性、アレルギーについて等			
	7	②表示成分と安全性 ③香粧品によるトラブル		テキスト P29～ 全表示成分、香粧品による事故の説明等			
	8	1節 香粧品の対象となる人体各部の性状 ①香粧品の種類と機能		テキスト P32～ 香粧品の使用部位と機能性について等			
	9	②皮膚と水 ③頭皮や毛髪の健康な状態		テキスト P33～ 皮膚の構造、保湿成分、頭皮・毛髪の健康な状態について等			
	10	④爪の性状 ⑤まぶたや口唇の性状		テキスト P37～ 爪の構造、目の構造について等			
	11	⑥香粧品のなりたち		テキスト P39～ 剤形、基剤について・基剤の種類について			
	12	中間テスト対策		テキスト、対策プリント使用 中間テストに向けた復習			
	13	中間テスト					
	14	中間テスト 回答・解説		中間テストの問題の解答・解説			
	15	2節 水性原料 ①水		テキスト P41～ 溶液、溶質、溶媒について・水のはたらきについて等			
	16	②エタノール		テキスト P42～ エタノールのはたらき、エタノールのメタノールについて等			
	17	3節 油性原料 ①油脂 ②ロウ類		テキスト P43～ 脂肪、脂肪油について・動植物油脂の種類・ロウの種類等			
	18	③炭化水素 ④その他の油性原料		テキスト P46～ 炭化水素の種類、その他の油性原料の種類等			
	19	⑤油性原料の機能		テキスト P49～ 油性原料のはたらき、皮膚への作用等			
履修上の留意点 出席率が80％に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		美容技術理論		指導担当者名		降矢 直美	
実務経験		美容師実務経験 9年				実務経験： 有	
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数(通年)		1年次前後期合計90時間(2年間合計150時間)		週時間数		4時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター 「美容技術理論」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	美容技術を学ぶにあたって		美容理論と美容技術、美容技術における作業姿勢			
	2	美容用具		美容技術における用具、コーム等			
	3	美容用具		ブラシ、シザーズ			
	4	美容用具		レザー、ピン類、ヘアクリップ			
	5	美容用具		ロッド、ローラー			
	6	美容用具		ヘアアイロン、ヘアドライヤー			
	7	美容用具		ヘアスチーマー、遠赤外線			
	8	シャンプーイング		シャンプーイング総論、サイドシャンプー			
	9	シャンプーイング		バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント			
	10	シャンプーイング		スカルプトリートメント、ヘッドスツパ			
	11	ヘアデザイン		美容とデザイン			
	12	ヘアカッティング		ヘアカッティングとは、シザーズとレザーの使い方			
	13	中間テスト					
	14	ヘアカッティング		美容刃物、ヘアカッティングの正しい姿勢			
	15	ヘアカッティング		ブロッキング、ヘアカッティングの基礎理論			
	16	ヘアカッティング		ベーシックなカット技法			
	17	ヘアカッティング		シザーズによるカット技法			
	18	ヘアカッティング		レザーによるカット技法			
	19	パーマネットウェーピング		パーマネットウェーブの歴史と現在			
	20	パーマネットウェーピング		パーマネットウェーブの理論			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		美容技術理論		指導担当者名		降矢 直美	
実務経験		美容師実務経験 9年				実務経験： 有	
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数(通年)		1年次前後期合計90時間(2年間合計150時間)		週時間数		4時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター「美容技術理論」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	パーマネントウェービング		パーマ剤の分類、パーマ剤に関する注意事項			
	2	パーマネントウェービング		パーマネントウェーブ技術			
	3	パーマネントウェービング		ワインディングのバリエーション、縮毛矯正			
	4	ヘアセッティング		ヘアセッティングとは、ヘアパーティング			
	5	ヘアセッティング		ヘアシェーピング			
	6	ヘアセッティング		ヘアカーリング			
	7	ヘアセッティング		ヘアウェービング、ローラーカーリング			
	8	ヘアセッティング		ブロードドライ、アイロンセッティング			
	9	ヘアセッティング		バックコーミング、アップスタイル			
	10	中間テスト					
	11	ヘアセッティング		ウィッグとヘアピース			
	12	ヘアカラーリング		ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類			
	13	ヘアカラーリング		ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム			
	14	ヘアカラーリング		色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン			
	15	ヘアカラーリング		パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項			
	16	ヘアカラーリング		ヘアカラーリングの道具			
	17	ヘアカラーリング		酸化染毛剤の技術手順			
	18	ヘアカラーリング		ヘアブリーチ			
	19	ヘアトリートメント剤の構成成分		シャンプー剤の構成成分、ヘアトリートメントの構成成分			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名	文化論	指導担当者名	田口 涼太
実務経験	美容師実務経験 9年		実務経験: 有
開講時期	前期(通年)	対象学科学年	美容学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	1年次前後期合計30時間(2年間合計60時間)	週時間数	1時間
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で美容業・理容業の歴史の知識を習得する。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「文化論」		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	
	2	第1章 総論	理容・美容の語義 理容・美容の現代社会等
	3	第2章 理容業・美容業の発生	髪結床の誕生 女髪結いの誕生等
	4	江戸時代の理容業・美容業	制度に守られた理容業 女髪結いの動向等
	5	近代の理容業・美容業	髪結いから理髪師へ 女髪結いから美容師へ等
	6	現代の理容業・美容業	理容業の発展 美容業の発展等
	7	日本の理容業・美容業の歴史年表	年表を理解する
	8	第3章 ファッション文化史 日本編 第1節 縄文	縄文、弥生、古墳の髪型、化粧、服装
	9	第3章 ファッション文化史 日本編 第1節 縄文	飛鳥、奈良、平安の髪型、化粧、服装
	10	第2節 古代(飛鳥・奈良・平安時代)	平安末、鎌倉、室町、戦国時代の髪型、化粧、服装
	11	第3節 中世	江戸時代の髪型、化粧、服装
	12	第4節 近世Ⅰ	戦国末、安土桃山時代の髪型、化粧、服装
	13	中間テスト	
	14	中間テスト 解答 解説	
	15	第5節 近世Ⅱ	江戸時代の髪型、化粧、服装
	16	第6節 近代Ⅰ	明治、大正、昭和20年までの髪型、化粧、服装
	17	第7節 現代Ⅰ	1945～1950年代の髪型、化粧、服装
	18	第8節 現代Ⅱ	1960～1970年代の髪型、化粧、服装
	19	第9節 現代Ⅲ	1980～1990年代の髪型、化粧、服装
	20	第10節 現代Ⅳ	2000年代以降の髪型、化粧、服装
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名		文化論		指導担当者名		佐藤 鎮雄	
実務経験		高等学校教員経験「美術」 20年				実務経験： 有	
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：		演習：		実習：○ 実技：	
時間数(通年)		1年次前後期合計30時間(2年間合計60時間)		週時間数		2時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で美容業・理容業の歴史の知識を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター 「文化論」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	第6節 近代		明治、大正、昭和20年までの髪型、化粧、服装			
	2	第6節 近代		明治、大正、昭和20年までの髪型、化粧、服装			
	3	第7節 現代Ⅰ		1945～1950年代の髪型、化粧、服装			
	4	第7節 現代Ⅰ		1945～1950年代の髪型、化粧、服装			
	5	第8節 現代Ⅱ(1960年～1970年代)		1960～1970年代の髪型、化粧、服装			
	6	第8節 現代Ⅱ(1960年～1970年代)		1960～1970年代の髪型、化粧、服装			
	7	第9節 現代Ⅲ(1980年代～1990年代)		1980～1990年代の髪型、化粧、服装			
	8	第9節 現代Ⅲ(1980年代～1990年代)		1980～1990年代の髪型、化粧、服装			
	9	第10節 現代Ⅳ(2000年代以降)		2000年代以降の髪型、化粧、服装			
	10	中間テスト					
	11	中間テスト 解答 解説					
	12	第10節 現代Ⅳ(2000年代以降)		2000年代以降の髪型、化粧、服装			
	13	第4章 ファッション文化史 西洋編 第1節 古代		1960年代の髪型、化粧、服装			
	14	第4章 ファッション文化史 西洋編 第1節 古代		1970年代の髪型、化粧、服装			
	15	第2節 古代ギリシャ・ローマ		古代ギリシャ・ローマの髪型、化粧、服装			
	16	第2節 古代ギリシャ・ローマ		古代ギリシャ・ローマの髪型、化粧、服装			
	17	第3節 古代ゲルマン		古代ゲルマンの髪型、化粧、服装			
	18	第3節 古代ゲルマン		古代ゲルマンの髪型、化粧、服装			
	19	第4節 中世ヨーロッパ		中世ヨーロッパの髪型、化粧、服装			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		運営管理		指導担当者名		降矢 直美	
実務経験		美容師実務経験 8年				実務経験： 有	
開講時期		後期		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習： 実技：	
時間数		1年次合計15時間(2年間合計30時間)		週時間数		1時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要なサービスの心得・経営者の責任を学ぶ。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター「運営管理」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	第1章 経営とは・経営者とは 第1節 経営が必要とされる理由		テキストP12～ ①経営とは何か ②経営最大のテーマ:継続企業の原則			
	2	第2節 継続が難しい理由＝経営が必要な理由		テキストP14～ ①変化 ②競争 ③経営の必要性			
	3	第3節 経営とは何か 第4節 経営資源と経営計画		テキストP16～ ①経営の目的 ②経営の成果 ③経営資源 ④経営計画			
	4	第5節 経営戦略 第6節 経営戦略が目指すもの		テキストP20～ ①経営戦略とは ②経営戦略の視点 ③経営者の視点 ④よい店をどう実現するか ⑤クオリティの実現			
	5	第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 業界の概要		テキストP24～ ①理容・美容業界の現状 ②今日の理容店・美容店			
	6	第2節 競争の変化 第3節 サービスとしての理容・美容		テキストP26～ ①競争 ②競争の方向性の変化 ③サービスは経験の提供 ④顧客が決めるサービス ⑤サービスを実現するもの			
	7	第4節 理容業・美容業の顧客について		テキストP30～ ①顧客が来るのは当たり前ではない ②理容・美容の顧客の特徴			
	8	第3章 資金の管理 第1節 資金管理の重要性		テキストP32～ ①資金管理とは ②会計の活用			
	9	第2節 収支と損益 第3節 会計の考え方		テキストP34～ ①収支と損益とは ②収支と損益が異なる例 ③会計について等			
	10	中間テスト					
	11	中間テスト 回答・解説		中間テストの問題の解答・解説			
	12	第4節 コストを管理する 第5節 税金について		テキストP38～ ①利益・コストの仕組み ②税金の種類とその内容 ③税金を支払わないときの罰則			
	13	第1章 人という資源 第1節 人という資源とは		テキストP43～ ①人という資源の特徴と課題 ②労務管理の目指すもの			
	14	第2節 人の能力を高める 第3節 人をやる気にさせるために		テキストP46～ ①採用について ②美容業のトレーニング ③やる気とは ④やる気を高める			
	15	第4節 給与 第5節 待遇・福利厚生		テキストP50～ ①評価・待遇 ②福利厚生 ③休暇			
	16	第6節 労働者の権利		テキストP54～ ①働く者の権利 ②適正な労使関係の構築			
	17	第2章 健康・安全な職場環境の実現 第1節 健康管理の基礎		テキストP56～ ①健康管理とその管理 ②健康診断			
	18	第2節 理容・美容の仕事と健康 第3節 理容業・美容業に特徴的な健康課題		テキストP58～ ①健康課題 ②経営者としての責任 ③仕事と疲労 ④美容師に多い健康問題			
	19	第4節 理容・美容の作業環境に関する健康問題		テキストP62～ ①採光・証明 ②換気 ③温度・湿度			
履修上の留意点 出席率が80％に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名	美容実習	指導担当者名	①降矢 直美 ②渡辺 拓哉
実務経験	①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	前期(通年)	対象学科学年	美容学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	1年次前後期合計300時間(2年間合計915時間)	週時間数	12時間
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター 「美容師実技試験課題 技術の解説」		
授業外学習 の方法	授業外での自主練習		
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	教材の配布、科目の説明
	2	ワインディング	ブロッキングの説明・展示・演習
	3	ワインディング	上巻き・下巻きの説明・展示・演習。センターのワインディング。
	4	ワインディング	センター～フロントの説明・展示・演習。
	5	ワインディング	フロント～右バックサイド～右サイドの説明・展示・演習。
	6	ワインディング	左バックサイド～左サイドの説明・展示・演習。
	7	ワインディング	全頭巻き(40分で計測)
	8	ワインディング	全頭巻き(40分で計測)
	9	ワインディング	全頭巻き(40分で計測)
	10	ワインディング	全頭巻き(35分で計測)
	11	ワインディング	全頭巻き(35分で計測)
	12	ワインディング	全頭巻き(35分で計測)
	13	中間テスト	
	14	ワインディング	全頭巻き(30分で計測)
	15	ワインディング	全頭巻き(25分で計測)
	16	ワインディング	全頭巻き(25分で計測)
	17	ワインディング	全頭巻き(25分で計測)
	18	ワインディング	全頭巻き(20分で計測)
	19	ワインディング	全頭巻き(20分で計測)
	20	ワインディング	全頭巻き(20分で計測)
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名		美容実習		指導担当者名		①降矢 直美 ②渡辺 拓哉	
実務経験		①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年				実務経験: ①有 ②有	
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義:		演習:○		実習: 実技:	
時間数(通年)		1年次前後期合計300時間(2年間合計915時間)		週時間数		12時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 理容師美容師試験研修センター 「美容師実技試験課題 技術の解説」					
授業外学習 の方法		授業外での自主練習					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	2	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	3	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	4	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	5	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	6	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	7	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	8	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	9	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	10	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	11	中間テスト					
	12	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	13	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	14	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	15	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	16	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	17	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	18	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
	19	ワインディング		全頭巻き(20分で計測)			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		実践行動学Ⅰ（就職実務）		指導担当者名		渡辺 拓哉		
実務経験							実務経験:	
開講時期		前期（通年）		対象学科学年		美容学科1年		
授業方法		講義:○		演習:		実習:		実技:
時間数（通年）		160時間（前後期合計）			週時間数	3時間		
学習到達目標		就職活動を始める前の準備						
評価方法 評価基準		授業態度・提出物・活動状況等						
使用教材		SUCCESS						
授業外学習の方法		学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事						
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	オリエンテーション			講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)			
	2	就職活動の心構え身だしなみ			1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか			
	3	就職活動での身だしなみ			5-1～5-1(実践編) 身だしなみ			
	4	就職活動の流れ			学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い			
	5	職業を知る			圧迫面接			
	6	情報収集、企業研究、資料請求1			2-2(実践編) 業界マップの理解			
	7	情報収集、企業研究、資料請求2			2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する			
	8	情報収集、企業研究、資料請求3			2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する			
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1			1 3-4から3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す			
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2			3-4から3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)			
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3			3-4から3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)			
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4			3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る			
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5			3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)			
	14	志望動機の作り方 1			3-7 業界、会社にあった動機作り			
	15	志望動機の作り方 2			3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り			
	16	自己PRの作り方1			3-7 業界、会社にあった自己PR 作り			
	17	自己PRの作り方2			3-7 業界、会社にあった自己PR 作り			
	18	自己PRの作り方3			3-7 業界、会社にあった自己PR 作り			
	19	中間テスト						
	20	履歴書作成			まとめ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない								

授業計画(シラバス)

科目名		就職実務		指導担当者名		渡辺 拓哉	
実務経験						実務経験:	
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義:○		演習:		実習:	
実技:							
時間数(通年)		160時間(前後期合計)		週時間数		3時間	
学習到達目標		就職活動を始める前の準備					
評価方法 評価基準		授業態度・提出物・活動状況等					
使用教材		SUCCESS					
授業外学習の方法		学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1		3-7 業界、会社にあった動機作り			
	2	志望動機の作り方 2		3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り			
	3	作成書類 1		3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成			
	4	作成書類 2					
	5	作成書類 3					
	6	企業訪問		5-1,5-2 準備、当日、事後の指導をしてください			
	7	就職試験のマナー 1		5-2~5-3(実践編) 入退室			
	8	職試験のマナー 2		5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1			
	9	職試験のマナー 3		5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2			
	10	筆記試験対策 1		5-5,5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る			
	11	筆記試験対策 2		特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)			
	12	筆記試験対策 3		特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)			
	13	企業研究1		求人票の見方・自分の希望する企業を調査			
	14	企業研究2		求人票の見方・自分の希望する企業を調査			
	15	企業研究3		求人票の見方・自分の希望する企業を調査			
	16	履歴書・面接試験		履歴書、入退室の確認は必須			
	17	履歴書・面接試験		履歴書、入退室の確認は必須			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名	フォト		指導担当者名	中川 貴弘	
実務経験	株式会社ステップワン実務経験 3年			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	美容学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:◎	実技:	
時間数	30時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	就職活動での作品撮りのためにカメラの使い方、撮影の方法を学ぶ				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	カメラ機材、iPad、プリント				
授業外学習 の方法	配布プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介		
	2	カメラの名称	プリント配布 カメラの各部名称		
	3	カメラの使い方	絞りとシャッタースピード関係について。露出、ホワイトバランス、ISO感度について。		
	4	カメラ撮影 実践①	キャンパス広場にて風景撮影		
	5	カメラ撮影 実践②	相モデルでポートレート撮影		
	6	カメラ撮影 実践③	相モデルでポートレート撮影		
	7	カメラ撮影 実践④	相モデルでポートレート撮影		
	8	カメラ撮影 実践⑤	相モデルでポートレート撮影		
	9	写真編集①	写真編集(トリミング、レタッチ、露出補正、カラーバランス、フィルター加工など)		
	10	写真編集②	写真編集(トリミング、レタッチ、露出補正、カラーバランス、フィルター加工など)		
	11	写真編集③	写真編集(トリミング、レタッチ、露出補正、カラーバランス、フィルター加工など)		
	12	写真編集④	写真編集(トリミング、レタッチ、露出補正、カラーバランス、フィルター加工など)		
	13	中間テスト			
	14	カメラ撮影 実践⑥	相モデルでポートレート撮影(応用)ライティングの基礎		
	15	カメラ撮影 実践⑦	相モデルでポートレート撮影(応用)ライティング実践		
	16	カメラ撮影 実践⑧	相モデルでポートレート撮影(応用)ライティング実践		
	17	写真編集⑤	プレゼンに向け、写真編集、作品集を作成		
	18	写真編集⑥	プレゼンに向け、写真編集、作品集を作成		
	19	写真編集⑦	プレゼンに向け、写真編集、作品集を作成		
	20	作品 プレゼン	各自、作品集をプレゼン(1人2分)		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名		カット(TONI&GUY)		指導担当者名		①松本 拓郎 ②田口 涼太	
実務経験		①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年				実務経験： 有	
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：		演習： ○		実習： 実技：	
時間数(通年)		200時間(前後期合計)		週時間数		9時間	
学習到達目標		カットの基本である、ワンレングス、グラデーション、レイヤーのカット技法を学び「TONI&GUY ベーシック・カットング・コース修了認定」の資格取得をめざす。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		髪書房 BASIC TONI&GUY いちばんやさしく、ていねいなカットの基礎					
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと、授業外での自主練習					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	基本用語解説		P2～P11			
	2	シザーズ&レザー		P12～P13			
	3	シザーズの持ち方・動かし方		P14～P15			
	4	カットに必要な道具		P16～P17			
	5	5つの型と姿勢		P18～P19			
	6	TONI&GUYカットシステム4つのキーポイント		P20～P23			
	7	ワンレングス		ブロッキングの取り方 p24～p27			
	8	ワンレングス		工程説明、演習 p28～p30			
	9	ワンレングス		工程説明、演習 p31～p33			
	10	ワンレングス		工程説明、演習 p34～p35			
	11	ワンレングス		ワンレングス タイム計測 全頭 45分			
	12	ワンレングス		ワンレングス タイム計測 全頭 40分			
	13	中間テスト					
	14	ワンレングス		ワンレングス タイム計測 全頭 40分			
	15	ワンレングス		ワンレングス タイム計測 全頭 35分			
	16	ワンレングス		ワンレングス タイム計測 全頭 35分			
	17	ワンレングス		ワンレングス タイム計測 全頭 30分			
	18	ワンレングス		ワンレングス タイム計測 全頭 30分			
	19	ワンレングス		ワンレングス タイム計測 全頭 30分			
	20	ワンレングス 確認テスト		確認テスト 前頭 30分			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		カット(TONI&GUY)		指導担当者名		①松本 拓郎 ②田口 涼太	
実務経験		①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年				実務経験: 有	
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義:		演習: ○		実習: 実技:	
時間数(通年)		200時間(前後期合計)		週時間数		9時間	
学習到達目標		カットの基本である、ワンレングス、グラデーション、レイヤーのカット技法を学び「TONI&GUY ベーシック・カッティング・コース修了認定」の資格取得をめざす。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		髪書房 BASIC TONI&GUY いちばんやさしく、ていねいなカットの基礎					
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと、授業外での自主練習					
学期	ターム						
授業計画 後期	1	グラデーション			ブロッキングの取り方 p36～p40		
	2	グラデーション			工程説明、演習 p41～p44		
	3	グラデーション			工程説明、演習 p45～p49		
	4	グラデーション			タイム計測 全頭 45分		
	5	グラデーション			タイム計測 全頭 35分		
	6	グラデーション			タイム計測 全頭 30分		
	7	グラデーション			タイム計測 全頭 30分		
	8	確認テスト					
	9	レイヤー			ブロッキングの取り方 p50～p53		
	10	レイヤー			工程説明、演習 p54～p58		
	11	中間テスト			工程説明、演習 p59～p61		
	12	レイヤー			タイム計測 全頭 45分		
	13	レイヤー			タイム計測 全頭 40分		
	14	レイヤー			タイム計測 全頭 35分		
	15	レイヤー			タイム計測 全頭 35分		
	16	レイヤー			タイム計測 全頭 30分		
	17	レイヤー			タイム計測 全頭 30分		
	18	確認テスト					
	19	TONI&GUY ベーシック・カッティング・コース修了認定試験			資格試験		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		メイクコース		指導担当者名		高橋 貴美子	
実務経験		オフィスマーベル代表 メイクアップアーティストとして33年実務経験あり				実務経験:	有
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義:○		演習:		実習:◎	
実技:							
時間数(通年)		90時間(前後期合計)		週時間数		3時間	
学習到達目標		メイクの技術・知識を身に付ける フォーラムベーシックメイクアップコース修了試験 合格を目指す					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、検定等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		メイク教材、プロフェッショナル ベーシックメイクアップコース テキスト					
授業外学習の方法		予習、復習、自主練習					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	メイク教材チェック		材料の理解・使い方・検定について			
	2	骨格について		輪郭、パーツを知る。			
	3	肌の仕組み		肌の仕組み、状態を知る。			
	4	肌の仕組み		肌のタイプを知る。			
	5	第一印象、肌の状態、チェック。		実際相モデルで肌に触れ診断する。			
	6	マッサージ（自分の顔）		マッサージの仕方。			
	7	マッサージ（相モデル）		相手の肌に触れる。			
	8	ファンデーション(自分の顔)		色合わせ			
	9	ファンデーション(相モデル)		色合わせ			
	10	ファンデーション(相モデル)		色合わせ			
	11	アイメイク		グラデーションのやり方			
	12	アイメイク(ファンデーション～アイシャドー)		ファンデーションから通して実施			
	13	テスト		アイシャドウまで			
	14	アイブロー		眉の形について			
	15	アイブロー(ファンデーション～アイブロー)		ファンデーションから通して実施			
	16	アイブロー(ファンデーション～アイブロー)		ファンデーションから通して実施			
	17	チークについて		チークの位置、バランス			
	18	リップについて		リップの書き方			
	19	トータルメイク		トータルバランス確認の仕方			
	20	シェーディング・ハイライト		顔形にあったハイライト、シェーディング			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		メイクコース		指導担当者名		高橋 貴美子	
実務経験		オフィスマーベル代表 メイクアップアーティストとして33年実務経験あり				実務経験： 有	
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：◎	
実技：							
時間数(通年)		90時間(前後期合計)		週時間数		3時間	
学習到達目標		メイクの技術・知識を身に付ける フォーラムベーシックメイクアップコース修了試験 合格を目指す					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、検定等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		メイク教材、プロフェッショナル ベーシックメイクアップコース テキスト					
授業外学習 の方法		予習、復習、自主練習					
学期		ターム		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
授業計画 後期	1	全体バランスメイク			色合わせ、輪郭にあったメイクをする		
	2	タイム計測			全体のタイムを知る		
	3	シェーディング・ハイライト			顔形にあったハイライト、シェーディング		
	4	全体バランスメイク			色合わせ、輪郭にあったメイクをする		
	5	タイム計測			全体のタイムを知る		
	6	修了試験同様タイム計測			45分計測(時間内にできるようにする)		
	7	修了試験同様タイム計測			45分計測(時間内にできるようにする)		
	8	修了試験同様タイム計測			45分計測(時間内にできるようにする)		
	9	修了試験同様タイム計測			45分計測(時間内にできるようにする)		
	10	修了試験同様タイム計測			45分計測(時間内にできるようにする)		
	11	修了試験同様タイム計測			45分計測(時間内にできるようにする)		
	12	修了試験同様タイム計測			45分計測(時間内にできるようにする)		
	13	修了試験実技					
	14	筆記対策			過去問対策		
	15	筆記対策			過去問対策		
	16	筆記対策			過去問対策		
	17	修了試験筆記					
	18	メイクプラン作成			相手の顔を知る(輪郭・パーツ)		
	19	メイクプラン作成			相手の顔を知る(輪郭・パーツ)		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		ネイルコース		指導担当者名		①大原 麻弥 ②佐々木 美代子	
実務経験		①ネイリスト実務経験 7年 ②美容師実務経験 12年				実務経験： 有	
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義： ○		演習：		実習：◎ 実技：	
時間数(通年)		90時間(前後期合計)		週時間数		3時間	
学習到達目標		ネイルの技術・知識を身に付ける ネイル検定3級、ジェルネイル検定初級 合格を目指す					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、技術等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル					
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理論		教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識			
	2	基礎理論 (爪の病気・トラブル)		基礎知識を理解・筆記テスト対策			
	3	基礎理論 (爪の病気・トラブル)		基礎知識を理解・筆記テスト対策			
	4	ファイルの使い方・ケア		指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧			
	5	ケア・カラー		ブッシュアップ・ニッパワーク・流れを説明・実習。			
	6	ケア・カラー (カラ-5本指)		最初からの通し			
	7	ケア・カラー		1つ1つ説明しながら相モデルで通し。			
	8	アート		課題アートの描き方			
	9	手指消毒～ケア		40分			
	10	カラー～仕上げ		40分			
	11	通し計測		80分			
	12	通し計測		80分			
	13	通し計測		80分			
	14	通し計測		80分			
	15	通し計測		80分			
	16	通し計測		80分			
	17	通し計測		80分			
	18	通し計測		80分			
	19	通し計測		80分			
	20	通し計測		80分			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		ネイルコース		指導担当者名		①大原 麻弥 ②佐々木 美代子	
実務経験		①ネイリスト実務経験 7年 ②美容師実務経験 12年				実務経験： 有	
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：◎ 実技：	
時間数(通年)		90時間(前後期合計)		週時間数		3時間	
学習到達目標		ネイルの技術・知識を身に付ける ネイル検定3級、ジェルネイル検定初級 合格を目指す					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、技術等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	通し計測		80分			
	2	通し計測		80分			
	3	通し計測		80分			
	4	通し計測		80分			
	5	ネイル3級検定					
	6	ジェルネイルの基礎		ジェルとは ドライケア			
	7	カラーリング		ジェルとポリッシュの違い			
	8	アート		ジェルアート(ピーコック)			
	9	カラーリングからアート		通し計測			
	10	カラーリングからアート		通し計測			
	11	カラーリングからアート		通し計測			
	12	ジェルネイル初級検定					
	13	作品作り		テーマ別作品づくり 1			
	14	作品作り		テーマ別作品づくり 2			
	15	作品作り		テーマ別作品づくり 3			
	16	作品作り		テーマ別作品づくり 4			
	17	作品作り		テーマ別作品づくり 5			
	18	作品作り		テーマ別作品づくり 6			
	19	試験					
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		トータルコース(サロンワーク)		指導担当者名		①渡辺 拓哉 ②佐々木 美代子			
実務経験		①美容師実務経験 9年 ②美容師実務経験 12年				実務経験:		①有 ②有	
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年			
授業方法		講義:○		演習:◎		実習:		実技:	
時間数(通年)		90時間(前後期合計)			週時間数		3時間		
学習到達目標		サロンワークで実際に使う技術を学ぶ。 「ロレアルカラーベーシックコース」、「ヘアケアマイスタープライマリーコース」取得を目指す。							
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する							
使用教材		日本ロレアル株式会社 カラーテキスト、日本ヘアケアマイスター協会「ヘアケアマイスターブック」							
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと、授業がいででの自主練習							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	ロレアル ベーシックカラーコース			教材配布、ウィッグカット。練習用クリームを使い毛先塗布 展示・演習。				
	2	ロレアル ベーシックカラーコース			毛先塗布演習・根元塗布展示・演習。				
	3	ロレアル ベーシックカラーコース			全頭塗布				
	4	ロレアル ベーシックカラーコース			全頭塗布				
	5	ロレアル ベーシックカラーコース			全頭塗布(30分で計測)				
	6	ロレアル ベーシックカラーコース			全頭塗布(25分で計測)				
	7	ロレアル ベーシックカラーコース			全頭塗布(25分で計測)				
	8	ロレアル ベーシックカラーコース			全頭塗布(20分で計測)				
	9	ロレアル ベーシックカラーコース			全頭塗布(20分で計測)				
	10	ロレアル ベーシックカラーコース			実技試験				
	11	ロレアル ベーシックカラーコース			筆記対策(カラー知識・レベル・アンダートーン・色の3属性・トーン)				
	12	ロレアル ベーシックカラーコース			筆記対策(メラニン色素・染毛の仕組み、テクニック・乳化・ホイルワーク・カブレ)				
	13	中間テスト			筆記試験				
	14	ヘアケアマイスタープライマリーコース			第1章 皮膚科学編 毛髪の構造・メラニン色素・タンパク質について				
	15	ヘアケアマイスタープライマリーコース			4つの結合・pH・ダメージについて				
	16	ヘアケアマイスタープライマリーコース			第2章 毛髪のカウンセリング編 毛髪の見極め・問診・視診・触診について				
	17	ヘアケアマイスタープライマリーコース			髪質の特徴と性質・くせ毛・毛髪の性質について				
	18	ヘアケアマイスタープライマリーコース			第3章 ヘアケア剤 界面活性剤について・シャンプー剤のはたらき				
	19	ヘアケアマイスタープライマリーコース			トリートメント剤・スタイリング剤・ホームケアアドバイスについて				
	20	ヘアケアマイスタープライマリーコース			試験対策(過去問題 プリントを準備)				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない									

授業計画(シラバス)(改定案)

科目名		トータルコース(サロンワーク)		指導担当者名		①渡辺 拓哉 ②佐々木 美代子	
実務経験		①美容師実務経験 9年 ②美容師実務経験 12年				実務経験: ①有 ②有	
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義:○		演習:◎		実習:○ 実技:	
時間数(通年)		90時間(前後期合計)		週時間数		3時間	
学習到達目標		サロンワークで実際に使う技術を学ぶ。 「ロレアルカラーベーシックコース」、「ヘアケアマイスタープライマリーコース」取得を目指す。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		日本ロレアル株式会社 カラーテキスト、日本ヘアケアマイスター協会「ヘアケアマイスターブック」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと、授業がいで自主練習					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	ヘアケアマイスタープライマリーコース		試験対策(過去問題 プリントを準備)			
	2	ヘアケアマイスタープライマリーコース		筆記試験			
	3	バックシャンプー		バックシャンプー 説明・展示・相モデルで演習(1シャンプー)			
	4	バックシャンプー		相モデルで演習(2シャンプー)			
	5	バックシャンプー(ヘッドスパ)		ヘッドスパ 説明・展示・相モデルで演習			
	6	バックシャンプー(ヘッドスパ)		相モデルで演習			
	7	ヘアカラー(ホイルワーク)		ホイルワーク(ウィービング・スライシング)展示・演習			
	8	ヘアカラー(ホイルワーク)		グラデーションカラー 展示・演習			
	9	パーマ		教材配布。Cカール演習。			
	10	パーマ		Sカール演習。			
	11	中間テスト		パーマ&カラーを使ったスタイル作り 実習			
	12	パーマ		スタイル作り実習。			
	13	ブロー		デンマンブロー、ロールブラシブロー展示・演習。			
	14	カットティング(毛量調整)		セニングシザーを使い毛量調整			
	15	カットティング(毛量調整)		スライドカットを使い毛量調整			
	16	カットティング(毛量調整)		スタイル作り実習。			
	17	カットティング(刈上げ)		刈上げを使ったメンズカット 展示・演習。			
	18	カットティング(刈上げ)		刈上げを使ったメンズメンズカット 演習。			
	19	カットティング(刈上げ)		スタイル作り実習。			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		着付けコース		指導担当者名		降矢 直美			
実務経験		美容師実務経験 8年				実務経験:	有		
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科1年			
授業方法		講義:○		演習:◎		実習:		実技:	
時間数(通年)		90時間(前後期合計)			週時間数		3時間		
学習到達目標		着付けの技術・知識を身に付ける 山野流着装初・中伝許状 合格を目指す							
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する							
使用教材		着物一式							
授業外学習の方法		授業時間外での自主練習							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等				
授業計画 前期	1	自己紹介 着付けの目的			講師紹介、今後の流れ				
	2	礼装			実物・プリントの準備				
	3	着物と着付け			実物・プリントの準備				
	4	着物のいろいろ			実物・プリントの準備				
	5	帯			実物・プリントの準備				
	6	小物			実物・プリントの準備				
	7	着物各部の名所			実物・プリントの準備				
	8	着物の畳方			実物・プリントの準備				
	9	着付けの一般的要領 着付けの準備物			実物・プリントの準備				
	10	着付け実習 補正の仕方①			相モデルで演習				
	11	着付け実習 補正の仕方②			相モデルで演習				
	12	着付け実習 補正の仕方③			相モデルで演習				
	13	着付け実習 長襦袢の着せ方①			相モデルで演習				
	14	着付け実習 長襦袢の着せ方②			相モデルで演習				
	15	着付け実習 長襦袢の着せ方③			相モデルで演習				
	16	着付け実習 着物の着せ方①			帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習				
	17	着付け実習 着物の着せ方②			帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習				
	18	着付け実習 着物の着せ方③			帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習				
	19	着付け実習 着物の着せ方④			帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習				
	20	着付け実習 着物の着せ方⑤			帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない									

授業計画(シラバス)

科目名		着付けコース		指導担当者名		降矢 直美	
実務経験		美容師実務経験 8年				実務経験： 有	
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科1年	
授業方法		講義：○		演習：◎		実習： 実技：	
時間数(通年)		90時間(前後期合計)		週時間数		3時間	
学習到達目標		着付けの技術・知識を身に付ける 山野流着装初・中伝許状 合格を目指す					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		着物一式					
授業外学習 の方法		授業時間外での自主練習					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	着付け実習 着物の着せ方①		帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習			
	2	着付け実習 着物の着せ方②		帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習			
	3	着付け実習 着物の着せ方③		帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習			
	4	着付け実習 着物の着せ方④		帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習			
	5	着付け実習 着物の着せ方⑤		帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習			
	6	山野流着装初・中伝許状 技術確認査定					
	7	和装花嫁について		白打掛、色打掛、夏の花嫁、黒のお引きずり について。プリント準備			
	8	和装花嫁について		白打掛、色打掛、夏の花嫁、黒のお引きずり について。プリント準備			
	9	着物に合うヘアセット演習①		夜会巻きの展示・ウィッグを使い演習			
	10	着物に合うヘアセット演習②		相モデルで実習			
	11	着物に合うヘアセット演習③		相モデルで実習			
	12	浴衣の着付け①		相モデルで実習			
	13	浴衣の着付け②		相モデルで実習			
	14	浴衣の着付け③		相モデルで実習			
	15	着付け・ヘアメイク プレゼンに向け準備・練習		相モデルで実習			
	16	着付け・ヘアメイク プレゼンに向け準備・練習		相モデルで実習			
	17	着付け・ヘアメイク プレゼンに向け準備・練習		相モデルで実習			
	18	着付け・ヘアメイク プレゼンに向け準備・練習		相モデルで実習			
	19	着付け・ヘアメイク プレゼン					
履修上の留意点						出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない	

授業計画(シラバス)

科目名	関係法規・制度		指導担当者名	吉田 幸子	
実務経験	中学校教員「社会」実務経験 14年			実務経験:	
開講時期	前期(通年)		対象学科学年	美容学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	30時間(前後期合計)		週時間数	1時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な法律、制度の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「関係法規・制度」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	第1節 社会生活における法の役割 ①人と社会生活 ②法とは何か	テキストP8～ 社会生活における法の役割について		
	2	第2節 ①憲法と日本の法令体系 ②条約	テキストP11～ 憲法・法律・命令・条例・規則について		
	3	③法律 ④命令 ⑤自治法規	テキストP12～ 法律・命令・自治法規の詳細について等		
	4	第3節 衛生法規の概要 ①衛生法規の意義	テキストP15～ 衛生法規の意義について		
	5	②衛生法規の分類と生活衛生法規	テキストP16～ 衛生法規の分類と生活衛生法規について		
	6	第4節 理容師法・美容師法と付属法令	テキストP18～ 付属法令の詳細		
	7	第1節 衛生行政の意義と歴史 ①行政とは何か	テキストP22～ 行政の分類		
	8	②衛生行政の意義	テキストP23～ 衛生行政の目的について		
	9	③我が国における衛生行政の歴史	テキストP23～ 衛生行政の起源・歩み・発展について		
	10	第2節 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 ①衛生行政の分類	テキストP27～ 衛生行政の分類と、生活衛生行政について		
	11	②生活衛生行政	テキストP28～ 生活衛生行政の内容、詳細		
	12	中間テスト対策	対策プリント準備		
	13	中間テスト			
	14	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説		
	15	第3節 衛生行政を担う行政機関 ①一般行政の仕組み	テキストP30～ 一般衛生行政の系統		
	16	②厚生労働省の役割	テキストP31～ 厚生労働省の役割		
	17	③都道府県及び市町村の役割	テキストP31～ 都道府県及び市町村の役割		
	18	④保健所の役割と機構	テキストP33～ 保健所の役割と意義		
	19	前半部分の振り返り	まとめプリント準備		
	20	第1節 理容師法・美容師法の目的	テキストP37～ 美容師法の目的		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	関係法規・制度		指導担当者名	吉田 幸子	
実務経験	中学校教員免許「免許」実務経験 14年			実務経験:	
開講時期	後期(通年)		対象学科学年	美容学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	30時間(前後期合計)		週時間数	1時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な法律、制度の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「関係法規・制度」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	第2節 用語の定義 ①理容・美容 ②理容師・美容師 ③理容所・美容所	テキストP42～ 理容・美容の定義の違い		
	2	第3節 人に関する規定 ①概説 ②養成施設の入所資格	テキストP49～ 美容師免許について・試験合格から登録まで		
	3	③養成施設 ④試験	テキストP52～ 養成施設・試験の概要		
	4	⑤免許と登録 ⑥理容師・美容師の義務	テキストP62～ 免許の意義・美容師の義務について		
	5	⑦業務停止、免許取消及び再免許	テキストP85～ 業務停止処分・取消処分について		
	6	第4節 施設に関する規定 ①概説 ②理容所・美容所の開設	テキストP92～ 美容所開設においての法律		
	7	③開設者が講ずべき衛生措置 ④理容所・美容所以外での業務	テキストP103～ 開設者が講ずべき衛生措置の詳細について等		
	8	第5節 立入検査と環境衛生監視員	テキストP112～ 立入検査、環境衛生監視員について		
	9	中間テスト対策	対策プリント準備		
	10	中間テスト			
	11	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説		
	12	第6節 違反者等に対する行政処分 ①違反者に対する行政処分	テキストP115～ 違反者に対する罰則の詳細		
	13	②不利益処分を行う場合の手続き ③違法または不当な処分等についての審査請求	テキストP118～ 不利益処分を行う手続き、審査請求について		
	14	第7節 罰則 ①罰則について ②理容師法・美容師法の罰則	テキストP122～ 罰則についての詳細		
	15	理容業・美容業の運営に関連する法律	テキストP129～ 理容業・美容業の運営に関連する法律まとめ		
	16	理容業・美容業の衛生に関連する法律	テキストP134～ 理容業・美容業の衛生に関連する法律まとめ		
	17	理容業・美容業の消費者保護に関連する法律	テキストP138～ 理容業・美容業の消費者保護に関連する法律まとめ		
	18	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	19	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	20	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理		指導担当者名	松本 拓郎	
実務経験	美容師実務経験 8年			実務経験:	有
開講時期	前期(通年)		対象学科学年	美容学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	2年次前後期合計40時間(2年間90時間)		週時間数	2時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な環境衛生・衛生管理技術の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「衛生管理」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	2章 消毒法各論 1節 理学的消毒法(殺菌法)①	テキストP148～ 紫外線消毒		
	2	2章 消毒法各論 1節 理学的消毒法(殺菌法)②	テキストP150～ 煮沸消毒		
	3	2章 消毒法各論 1節 理学的消毒法(殺菌法)③	テキストP151～ 蒸気(大気圧下の蒸気)消毒		
	4	2章 消毒法各論 1節 理学的消毒法(殺菌法)④	テキストP153～ その他の理学的消毒法		
	5	2節 化学的消毒法①	テキストP154～ アルコール類による消毒		
	6	2節 化学的消毒法②	テキストP156～ 次亜塩素酸ナトリウム(塩素剤)による消毒		
	7	2節 化学的消毒法③	テキストP158～ 界面活性剤(逆性石けん、両性界面活性剤)による消毒		
	8	2節 化学的消毒法④	テキストP160～ グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒		
	9	2節 化学的消毒法⑤	テキストP161～ その他の消毒薬		
	10	3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意	テキストP164～ ①すぐれた消毒法の条件 ②注意事項		
	11	中間テスト対策 練習問題	プリント準備		
	12	中間テスト対策 練習問題 回答・解説	中間テスト対策 練習問題の回答・解説		
	13	中間テスト			
	14	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説		
	15	3章 消毒法実習 1節 各種消毒薬①	テキストP168～ 消毒薬の概要		
	16	3章 消毒法実習 1節 各種消毒薬②	テキストP171～ 器具の使い方		
	17	3章 消毒法実習 1節 各種消毒薬③	テキストP173～ 常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度		
	18	3章 消毒法実習 1節 各種消毒薬④	テキストP174～ 消毒薬希釈法		
	19	消毒法のまとめ	プリント準備		
	20	2節 理容所・美容所の消毒の実際①	テキストP181～ 理容所・美容所における消毒の原則		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理		指導担当者名	松本 拓郎	
実務経験	美容師実務経験 8年			実務経験:	有
開講時期	後期(通年)		対象学科学年	美容学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	2年次前後期合計40時間(2年間90時間)		週時間数	2時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な環境衛生・衛生管理技術の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「衛生管理」				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	2節 理容所・美容所の消毒の実際②	テキストP182～ 理容所・美容所の消毒設備		
	2	2節 理容所・美容所の消毒の実際③	テキストP182～ 理容・美容器具類の消毒法		
	3	2節 理容所・美容所の消毒の実際④	テキストP191～ 理容師・美容師の手指の消毒		
	4	2節 理容所・美容所の消毒の実際⑤	テキストP192～ その他のものの消毒		
	5	2節 理容所・美容所の消毒の実際⑥	テキストP193～ 理容所・美容所の消毒の現状		
	6	3節 理容所・美容所の清潔法の実際①	テキストP194～ ①清潔保持と清掃 ②洗剤による清浄法 ③洗い場の構造と清潔保持		
	7	3節 理容所・美容所の清潔法の実際②	テキストP196～ ①清掃 ②毛の処理・汚物箱などの消毒 ③ハエやカなどの駆除		
	8	5編 衛生管理の実践例 1章 美容所における衛生管理要領①	テキストP201～ 衛生的取扱い等		
	9	中間テスト対策 練習問題	プリント準備		
	10	中間テスト			
	11	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説		
	12	5編 衛生管理の実践例 1章 美容所における衛生管理要領②	テキストP222～ 自主的管理体制		
	13	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	14	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	15	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	16	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	17	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	18	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	19	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	20	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	保健		指導担当者名		渡辺 拓哉	
実務経験	美容師実務経験 9年				実務経験:	有
開講時期	前期(通年)		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法	講義:○	演習:		実習:	実技:	
時間数(通年)	2年次前後期合計40時間(2年間90時間)		週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な人体・皮膚の知識を習得する。					
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「保健」					
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	第1章 皮膚の構造 ①皮膚の表面、②皮膚の断面	テキストP68～ 表皮・真皮・皮下組織等			
	2	③表皮、④表皮と真皮の堺	テキストP70～ 角化細胞・色素細胞・ランゲルハンス細胞等			
	3	⑤真皮、⑥皮下組織、⑦皮膚の部位差	テキストP73～ 膠原繊維・弾性繊維・皮下脂肪等			
	4	第2章 皮膚付属器官の構造 ①毛、②脂腺(皮脂腺)	テキストP78～ 毛の構造・成長周期・脂腺等			
	5	③汗腺、④爪	テキストP86～ エクリン腺・アポクリン腺・爪の構造等			
	6	第3章 皮膚の循環器系と神経系 ①皮膚の血管、②皮膚のリンパ管	テキストP90～ 皮膚の血管・リンパ管等			
	7	③皮膚の神経	テキストP92～ 痛覚・温覚・冷覚・触覚等			
	8	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ①対外保護作用、②体温調節機能	テキストP94～ 機械的外力・光線・化学的刺激・細菌・微生物に対する保護作用等			
	9	③知覚作用と皮膚反射 ④分泌排泄作用	テキストP98～ 皮膚知覚作用・皮脂の分泌・生理作用等			
	10	⑤呼吸作用 ⑥吸収作用	テキストP103～ 経皮吸収・表皮吸収・皮膚付属器官経路等			
	11	⑦貯蔵作用 ⑧免疫・解毒・排除作用	テキストP104～ 角化細胞・マクロファージ・ワクチン接種等			
	12	⑨再生作用 ⑩毛のはたらき ⑪爪のはたらき	テキストP106～ 表皮の再生・皮膚の再生等			
	13	中間テスト				
	14	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説			
	15	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 ①皮膚と全身状態 ②皮膚と精神	テキストP108～ 貧血、チアノーゼ、黄疸等			
	16	③皮膚と栄養 ④皮膚とし好品	テキストP110～ ストレス・ホルモン分泌・多汗症等			
	17	⑤皮膚と体内病変 ⑥皮膚の水分と脂の状態	テキストP111～ 肝臓障害・腎臓炎・胃腸障害・便秘・糖尿病等			
	18	⑦皮膚・付属器官とホルモン ⑧皮膚の保護と手	テキストP118～ 男性ホルモン・女性ホルモン・ふけ症の手入れ等			
	19	⑨毛の保護と手入れ ⑩爪の保護と手入れ ⑪子どものおしゃれによる皮膚トラブル	テキストP126～ 毛の衛生・傷んだ毛のそのケア			
	20	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ①皮膚の異常とその種類 ②皮膚疾患の原因	テキストP132～ 原発疹・続発疹等			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない						

授業計画(シラバス)

科目名		保健		指導担当者名		渡辺 拓哉	
実務経験		美容師実務経験 9年				実務経験:	有
開講時期		後期(通年)		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法		講義:○	演習:		実習:		実技:
時間数(通年)		2年次前後期合計40時間(2年間90時間)		週時間数	2時間		
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な人体・皮膚の知識を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター「保健」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	③皮膚疾患の治療法 ④皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹		テキストP136～ 外科的療法・理学的療法			
	2	⑤口唇の疾患 ⑥温熱・寒冷による皮膚障害		テキストP150～ 熱傷・凍傷・凍瘡等			
	3	⑦角化異常による皮膚疾患 ⑧色素異常による皮膚疾患		テキストP152～ タコ・ウオノメ・シミ・ソバカス等			
	4	⑨血管腫(アカアザ) ⑩脂腺母斑		テキストP155～ 血管腫・脂腺母斑等			
	5	⑪下肢静脈瘤 ⑫分泌異常による皮膚疾患		テキストP156～ 下肢静脈瘤・ニキビ・ワキガ等			
	6	⑬化膿性による皮膚疾患 ⑭ウイルスによる皮膚疾患		テキストP161～ トビヒ・毛包炎・ヘルペス等			
	7	⑮真菌による皮膚疾患 ⑯衛生害虫による皮膚疾患		白癬菌・衛生害虫による皮膚疾患等			
	8	⑰感染症の皮膚疾患の予防 ⑱毛と爪の疾患 ⑲皮膚の腫瘍		テキストP169～ 白髪・脱毛症・多毛症・爪の異常等			
	9	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	10	中間テスト					
	11	中間テスト 回答・解説		中間テストの問題の解答・解説			
	12	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	13	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	14	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	15	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	16	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	17	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	18	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	19	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	20	国家試験 対策		過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		化粧品化学		指導担当者名		渡辺 拓哉	
実務経験		美容師実務経験 9年				実務経験:	有
開講時期		後期		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法		講義:○	演習:		実習:		実技:
時間数(通年)		2年次前後期合計30時間(2年間合計60時間)		週時間数	2時間		
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な化粧品の成分等の知識を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター「化粧品化学」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	4節 界面活性剤 ①界面活性剤の基本的性質 ②界面活性剤の種類		テキスト P50～ 親水基と親油基・界面活性剤・種類の作用について等			
	2	5節 高分子化合物 ①高分子化合物の種類と特性 ②高分子化合物の化粧品への応用		テキスト P60～ 高分子化合物の種類と分類・応用について等			
	3	6節 色材 ①色材と化粧品 ②無機顔料		テキスト P63～ 無機顔料の種類と用途について等			
	4	③有機合成色素(タール色素) ④光輝性顔料(パール顔料) ⑤天然色素		テキスト P66～ タール色素を定める省令、色材の種類や用途について等			
	5	7節 香料 ①香料と化粧品 ②香料種類 ③調合香料		テキスト P69～ 香料による効果・種類や名称、用途について等			
	6	8節 その他の配合成分 ①化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分		テキスト P74～ 防腐剤、殺菌剤、酸化防止剤について等			
	7	②化粧品配合成分があたえる機能 ③その他の特殊成分		テキスト P76～ 保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤について等			
	8	9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 ①合成樹脂 ②接着剤 ③塗料		テキスト P82～ モノマー、ポリマーについて・接着剤、塗料について等			
	9	1節 皮膚清浄用化粧品 ①皮膚の汚れと清浄作用 ②石けんの種類とその性質 ③その他の清浄剤		テキスト P85～ 基礎化粧品の分類と名称・皮膚の汚れについて等			
	10	2節 化粧水 ①化粧水の種類と機能性		テキスト P91～ 化粧水の分類、名称と機能等			
	11	3節 クリーム・乳液 ①クリーム・乳液の皮膚への作用		テキスト P93～ クリーム、乳液の皮膚への作用等			
	12	②クリームの種類と機能 ③乳液の種類と機能		テキスト P95～ クリーム・乳液の分類と名称について等			
	13	中間テスト					
	14	中間テスト 回答・解説		中間テストの問題の解答・解説			
	15	4節 その他の基礎化粧品 ①シェービング用化粧品(理容) ②化粧水		テキスト P101～ シェービング用化粧品・化粧水の成分と効果について等			
	16	③打粉類 ④パック剤		テキスト P103～ ベビーパウダー・パック剤の種類と効果等			
	17	1節 メイクアップ化粧品の種類と剤形 2節 ベースメイクアップ化粧品		テキスト P105～ おしろい、ファンデーションの種類と特徴等			
	18	3節 ポイントメイクアップ化粧品 ①紅顔 ②アイメイクアップ化粧品		テキスト P112～ 口紅、頬紅、アイシャドー、アイライナー、マスカラ、アイブロウについて			
	19	③ネイル技術用化粧品類(マニキュア製品)		テキスト P118～ ネイル用品の種類と名称等			
	20	1節 シャンプー剤 ①シャンプー剤		テキスト P123～ シャンプー剤の分類と特徴について等			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名	香粧品化学		指導担当者名	渡辺 拓哉	
実務経験	美容師実務経験 9年			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	美容学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	2年次前後期合計30時間(2年間合計60時間)		週時間数	2時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な香粧品の成分等の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「香粧品化学」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	②ヘアリンス剤 ③ヘアトリートメント剤	テキスト P125～ リンス、トリートメント剤のはたらきと成分について等		
	2	2節 スタyling剤 ①styling剤の機能 ②油性styling剤	テキスト P128～ styling剤の分類、油性styling剤の種類等		
	3	③液状styling剤 ④高分子物質を基剤とするstyling剤	テキスト P130～ 液状styling剤、高分子物質を基剤とするstyling剤の種類		
	4	3節 パーマ剤 ①パーマの原理 ②パーマ剤の分類	テキスト P136～ パーマの仕組み、パーマ剤の分類と特徴について等		
	5	③パーマ剤第1剤 ④パーマ剤第2剤 ⑤パーマ剤の使用上の注意	テキスト P138～ パーマ1剤、2剤の成分と特徴について等		
	6	4節 ヘアカラー製品 ①ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム	テキスト P143～ ヘアカラーの染毛の仕組みと分類と特徴について等		
	7	②一時染毛料 ③半永久染毛料 ④脱色・脱染剤	テキスト P144～ 薬剤についての違い、それぞれの特徴等		
	8	⑤永久染毛料 ⑥ヘアカラー製品の使用上の注意 ⑦その他のヘアカラー製品	テキスト P147～ 永久染毛剤の配合成分や特徴、注意点など等		
	9	5節 育毛剤 ①脱毛の原因 ②育毛剤の種類と機能 ③育毛・養毛剤の原料	テキスト P154～ 育毛剤の種類と有効成分・脱毛の種類等		
	10	中間テスト			
	11	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説		
	12	1節 芳香製品 ①香水 ②オーデコロン ③その他の芳香製品	テキスト P157～ 芳香製品の種類と特徴・賦香率について等		
	13	2節 特殊香粧品 ①サンケア製品 ②美白用香粧品	テキスト P161～ サンケア製品の種類と特徴・美白用香粧品について等		
	14	③制汗・防臭剤 ④ニキビ用香粧品	テキスト P163～ 体臭の防止方法、ニキビの発生原因などについて等		
	15	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	16	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	17	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	18	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	19	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
	20	国家試験 対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	美容技術理論		指導担当者名		①降矢 直美 ②渡辺 拓哉	
実務経験	①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年				実務経験:	①有②有
開講時期	前期(通年)		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法	講義:○	演習:		実習:	実技:	
時間数(通年)	2年次前後期合計60時間(2年間合計150時間)		週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。					
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「美容技術理論」					
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	エステティック概論 皮膚の生理と構造		エステティックの歴史、皮膚の構造等		
	2	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論		カウンセリング の目的、基本手技等		
	3	フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテ		フェイシャルケアの効果、デコルテマッサージの基本等		
	4	フェイシャルパック ボディケア技術		フェイシャルパックの種類、ボディケアの種類と特徴		
	5	ボディマッサージ ネイル技術概論		ボディマッサージのポイント、ネイル技術概論		
	6	ネイル技術の種類 爪の構造と機能		ネイルケア、爪の構造と名称		
	7	爪のカット形状 ネイル技術と公衆衛生		爪のカット構造、消毒法の種類		
	8	カウンセリング ネイルケア		カウンセリング 、ネイルケアの道具		
	9	アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ		アーティフィシャルネイル技術の道具、ハンドマッサージのポイント等		
	10	メイクアップ概論 顔の形態学的な観察		メイクアップ概論、顔のプロポーション等		
	11	メイクアップと色彩 皮膚の生理と構造		色の三属性、皮膚の構造等		
	12	メイクアップの道具 スキンケア		メイクアップの道具、クレンジング等		
	13	中間テスト				
	14	中間テスト 回答、解説				
	15	ベースメイクアップ アイメイクアップ		ファンデーションの目的、アイラインのテクニック等		
	16	アイブロウメイクアップ リップメイクアップ		眉の整え方、美しい唇のポイント		
	17	ブラッシュオンメイクアップ まつ毛エクステンション		ブッシュオンメイクアップ まつげエクステンションにおける衛生及び保健		
	18	日本髪の由来 日本髪の各部の名称		日本髪の由来等		
	19	日本髪の種類と特徴 日本髪と調和		日本髪の種類等		
	20	日本髪の装飾品 日本髪の結髪道具		花嫁の文金高島田につける装飾品 日本髪の結髪用櫛類等		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない						

授業計画(シラバス)

科目名	美容技術理論		指導担当者名		①降矢 直美 ②渡辺 拓哉	
実務経験	①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年				実務経験:	①有②有
開講時期	後期(通年)		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法	講義:○	演習:		実習:	実技:	
時間数(通年)	2年次前後期合計60時間(2年間合計150時間)		週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。					
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「美容技術理論」					
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	日本髪の手入れ	日本髪の手入れ方法			
	2	かつら 着付けの目的	かつらのかぶせ方 飾りの付け方等			
	3	礼装 着物と季節	女子礼装 男 子礼装等			
	4	着物のいろいろ 帯	訪問着 付け下げ 等			
	5	小物 着物各部の名称	小物の種類等			
	6	着物のたたみ方 着付けの一般的要領	本たたみ 夜具たたみ等			
	7	留袖着付け技術 振袖着付け技術	着物の選び方 ひもの位置等			
	8	帯締め、帯揚げの結び方	帯締めの結び方一例 等			
	9	男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結	体型補正 着物の着付け等			
	10	中間テスト				
	11	中間テスト 回答、解説				
	12	女子袴着付け技術 婚礼着付けの際の注意事項	体型補正 着物の着付け等			
	13	和装花嫁 洋装花嫁	長襦袢の着付け 掛下の着付け等			
	14	国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	15	国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	16	国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	17	国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	18	国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	19	国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
	20	国家試験対策	過去問題プリント 過去問題の解答・解説			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない						

授業計画(シラバス)

科目名		文化論		指導担当者名		田口 涼太	
実務経験		美容師実務経験 9年				実務経験： 有	
開講時期		前期(通年)		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数(通年)		2年次前後期合計30時間(2年間合計60時間)		週時間数		1時間	
学習到達目標		国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で美容業・理容業の歴史の知識を習得する。					
評価方法 評価基準		出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材		公益財団法人 日本理容美容教育センター「文化論」					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	第4節 中世ヨーロッパ		中世ヨーロッパの髪型、化粧、服装			
	2	第5節 近世Ⅰ(16世紀)		16世紀の髪型、化粧、服装			
	3	第5節 近世Ⅰ(16世紀)		16世紀の髪型、化粧、服装			
	4	第6節 近世Ⅱ (17世紀)		17世紀の髪型、化粧、服装			
	5	第6節 近世Ⅱ (17世紀)		17世紀の髪型、化粧、服装			
	6	第7節 近世Ⅲ(18世紀)		18世紀の髪型、化粧、服装			
	7	第7節 近世Ⅲ(18世紀)		18世紀の髪型、化粧、服装			
	8	第8節 近代Ⅰ(1910年代～1920年代)		18世紀末～19世紀初めの髪型、化粧、服装			
	9	第8節 近代Ⅰ(1910年代～1920年代)		18世紀末～19世紀初めの髪型、化粧、服装			
	10	第9節 近代Ⅱ(19世紀)		19世紀の髪型、化粧、服装			
	11	第9節 近代Ⅱ(19世紀)		19世紀の髪型、化粧、服装			
	12	第10節 現代Ⅰ(1910年代～1920年代)		1910年代～1920年代の髪型、化粧、服装			
	13	中間テスト					
	14	中間テスト 回答・解説		中間テストの問題の解答・解説			
	15	第10節 現代Ⅰ(1910年代～1920年代)		1910年代～1920年代の髪型、化粧、服装			
	16	第11節 現代Ⅱ		1930年代～1940年代前半の髪型、化粧、服装			
	17	第11節 現代Ⅱ		1930年代～1940年代前半の髪型、化粧、服装			
	18	第12節 現代Ⅲ		1960年代の髪型、化粧、服装			
	19	第12節 現代Ⅲ		1960年代の髪型、化粧、服装			
	20	第13節 現代Ⅳ		1970年代の髪型、化粧、服装			
履修上の留意点							

授業計画(シラバス)

科目名	文化論	指導担当者名	田口 涼太
実務経験	美容師実務経験 9年		実務経験: 有
開講時期	後期(通年)	対象学科学年	美容学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	2年次前後期合計30時間(2年間合計60時間)	週時間数	1時間
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で美容業・理容業の歴史の知識を習得する。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「文化論」		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	第13節 現代Ⅳ	1970年代の髪型、化粧、服装
	2	第14節 現代Ⅴ	1970年代の髪型、化粧、服装
	3	第14節 現代Ⅴ	1970年代の髪型、化粧、服装
	4	第15節 現代Ⅵ	1980年代の髪型、化粧、服装
	5	第15節 現代Ⅵ	1980年代の髪型、化粧、服装
	6	第16節 現代Ⅶ	1990年代～2010年の髪型、化粧、服装
	7	第16節 現代Ⅶ	1990年代～2010年の髪型、化粧、服装
	8	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装	花嫁の礼装、女性の礼装等
	9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装	花嫁の礼装、女性の礼装等
	10	中間テスト	
	11	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説
	12	第1節 洋装の礼装	男性の礼装、女性の礼装
	13	国家試験 対策	問題プリント 過去問題の解答・解説
	14	国家試験 対策	問題プリント 過去問題の解答・解説
	15	国家試験 対策	問題プリント 過去問題の解答・解説
	16	国家試験 対策	問題プリント 過去問題の解答・解説
	17	国家試験 対策	問題プリント 過去問題の解答・解説
	18	国家試験 対策	問題プリント 過去問題の解答・解説
	19	国家試験 対策	問題プリント 過去問題の解答・解説
	20	国家試験 対策	問題プリント 過去問題の解答・解説
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	美容実習		指導担当者名	①降矢 直美 ②渡辺 拓哉	
実務経験	①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	前期(通年)		対象学科学年	美容学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	2年次前後期合計615時間(2年間合計915時間)		週時間数	18時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター「美容師実技試験課題 技術の解説」				
授業外学習 の方法	授業外での自主練習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①課題の説明・準備・セットローション塗布・ウェーブ・リッジの作り方を説明・展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測)		
	2	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①フルウェーブ展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測)		
	3	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①フルウェーブ演習 ②全頭巻き(20分で計測)		
	4	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①1段目スカルプチュアカール、7段目クロッキノールカール 説明・展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測)		
	5	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①3段目スカルプチュアカール 説明・展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測)		
	6	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①4・5段目リフトカール、6段目メイポールカール 説明・展示・演習 ②全頭巻き(20分で計測)		
	7	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成 ②全頭巻き(20分で計測)		
	8	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測)		
	9	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測)		
	10	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測)		
	11	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測)		
	12	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成(40分で計測) ②全頭巻き(20分で計測)		
	13	中間テスト			
	14	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説		
	15	①カットting ②オールウェーブセッティング	①カットウィッグ配布・トップ～前髪～サイドまで説明・展示・演習 ②全頭(35分で計測)		
	16	①カットting ②オールウェーブセッティング	②ネーブ～ヘムライン～第3ブロック説明・展示・演習 ②全頭(35分で計測)		
	17	①カットting ②オールウェーブセッティング	③第2ブロック～第1ブロック～サイド～チェックカット説明・展示・演習 ②全頭(35分で計測)		
	18	①カットting ②オールウェーブセッティング	④全頭カット ②全頭(35分で計測)		
	19	①カットting ②オールウェーブセッティング	⑤全頭カット ②全頭(35分で計測)		
	20	①カットting ②オールウェーブセッティング	⑤全頭カット ②全頭(35分で計測)		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	美容実習		指導担当者名	①降矢 直美 ②渡辺 拓哉	
実務経験	①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	後期(通年)		対象学科学年	美容学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	2年次前後期合計615時間(2年間合計915時間)		週時間数	18時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター 「美容師実技試験課題 技術の解説」				
授業外学習 の方法	授業外での自主練習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	①カッティング ②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測		
	2	①カッティング ②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測		
	3	①カッティング ②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測		
	4	①カッティング ②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測		
	5	①カッティング ②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測 ②全頭30分で計測 ③全頭20分で計測		
	6	国家試験課題	国家試験に準ずる		
	7	国家試験課題	国家試験に準ずる		
	8	国家試験課題	国家試験に準ずる		
	9	国家試験課題	国家試験に準ずる		
	10	中間テスト			
	11	中間テストの解答・解説			
	12	国家試験課題	国家試験に準ずる		
	13	国家試験課題	国家試験に準ずる		
	14	国家試験課題	国家試験に準ずる		
	15	国家試験課題	国家試験に準ずる		
	16	国家試験課題	国家試験に準ずる		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	運営管理		指導担当者名		降矢 直美	
実務経験	美容師実務経験 8年				実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法	講義:○		演習:		実習:	
実技:						
時間数	2年次合計15時間(2年間合計30時間)		週時間数		1時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要なサービスの心得・経営者の責任を学ぶ。					
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する					
使用教材	公益財団法人 日本理容美容教育センター「運営管理」					
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	第3章 従業員としての視点から 第1節 社会人としての責任・美容業の従業員としての責任	テキストP64～ ①社会人としての責任 ②美容という仕事ゆえの責任			
	2	第2節 社会保険①～公的年金～	テキストP66～ ①国民年金 ②厚生年金保険			
	3	第3節 社会保険②～医療保険～	テキストP70～ ①健康保険 ②国民健康保険 ③介護保険			
	4	第4節 社会保険③～労働保険～	テキストP74～ ①雇用保険 ②労働者災害補償保険			
	5	第5節 キャリアプランの重要性	テキストP78～ ①進むべき道を考える ②準備 ③自己管理・将来設計			
	6	第6節 仕事をするうえで考えるべきこと	テキストP80～ ①サービス提供としての役割 ②仲間と働くうえでの役割			
	7	第1章 サービス・デザイン 第1節 顧客が求める価値	テキストP83～ ①サービス・デザインとは ②要点			
	8	第2節 価値の実態 第3節 顧客満足の実現のためのシステム	テキストP86～ ①価値の構築 ②競争の現実 ③顧客満足とシステム			
	9	第4節 最も重要な価値・人 第5節 価値の多様性 第6節 サービスの範囲	テキストP90～ ①人の役割 ②顧客が求めている価値 ③サービスの範囲とは			
	10	中間テスト				
	11	中間テスト 回答・解説	中間テストの問題の解答・解説			
	12	第2章 マーケティング 第1節 美容業のマーケティング 第2節 マーケティング・ミックス	テキストP96～ ①マーケティングの特徴・要点 ②マーケティング・ミックスの要因			
	13	第3節 マーケティング・ミックスの短期的要因① 第4節 要因②	テキストP100～ ①短期的要因と長期的要因 ②価値 ③顧客とのコミュニケーション等			
	14	第5節 マーケティング・ミックスの長期的要因① 第6節 要因② 第7節 サービスのシステム化	テキストP106～ ①インターフェイス ②人 ③物的要因 ④プロセス			
	15	第3章 サービスにおける人の役割 第1節 接客についての理解 第2節 よい接客のために	テキストP112～ ①接客の誤解をとく ②よい接客とは ③計画と準備 ④努力や工夫			
	16	第3節 接客の実践① 第4節 接客の実践②	テキストP116～ ①接客の本質 ②受付の役割と意味 ③顧客の要望を聞く			
	17	第5節 接客の実践③ 第6節 接客の実践④	テキストP120～ ①提案 ②質問 ③説明 ④調整			
	18	第7節 接客の実践⑤ 第8節 接客におけるトラブルと対応	テキストP124～ ①謝罪 ②フォローアップ ③トラブル・事故 ④万一のときのために			
	19	第9節 接客で発生が予想される問題	テキストP128～ ①顧客の質の変化 ②事故 ③対策 ④対処			
	20	第10節 問題を深刻化させないために	①顧客の質の変化 ②事故 ③対策 ④対処			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない						

授業計画(シラバス)

科目名	美容総合技術		指導担当者名		①降矢 直美 ②渡辺 拓哉			
実務経験	①美容師実務経験 8年 ②美容師実務経験 9年				実務経験:	①有②有		
開講時期	後期		対象学科学年		美容学科2年			
授業方法	講義:		演習:○		実習:		実技:	
時間数	30時間			週時間数		2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。							
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、中間テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する							
使用教材	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター 「美容師実技試験課題 技術の解説」							
授業外学習 の方法	授業外での自主練習							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	国家試験 第1課題 第2課題			国家試験に準ずる			
	2	国家試験 第1課題 第2課題			国家試験に準ずる			
	3	国家試験 第1課題 第2課題			国家試験に準ずる			
	4	国家試験 第1課題 第2課題			国家試験に準ずる			
	5	国家試験 第1課題 第2課題			国家試験に準ずる			
	6	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	7	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	8	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	9	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	10	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	11	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	12	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	13	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	14	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	15	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
	16	国家試験 模擬試験			国家試験に準ずる(技術・衛生面どちらも採点)			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない								

授業計画(シラバス)

科目名		実践行動学Ⅱ（就職実務）		指導担当者名		①降矢 直美 ②田口 涼太	
実務経験						実務経験：	
開講時期		前期（通年）		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数（通年）		120時間（前後期合計）		週時間数		4時間	
学習到達目標		就職活動を始める前の準備					
評価方法 評価基準		授業態度・提出物・活動状況等					
使用教材		SUCCESS					
授業外学習の方法		学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	オリエンテーション		就職活動について			
	2	就職活動の心構え身だしなみ		昨年の資料に基づくレクチャー			
	3	就職活動での身だしなみ		5-1～5-1(実践編) 身だしなみ			
	4	就職活動の流れ		学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い			
	5	職業を知る		業界の常識をレクチャー			
	6	情報収集、企業研究、資料請求1		2-2(実践編) 業界マップの理解			
	7	情報収集、企業研究、資料請求2		2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する			
	8	情報収集、企業研究、資料請求3		業界ごとに必要な仕事内容を理解する			
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1		自己PRのネタを探す			
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2		自己PRのネタを探す(経験)			
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3		自己PRのネタを探す(特性)			
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4		自己PRの骨格を作る			
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5		自己PRの骨格を作る(実践編)			
	14	志望動機の作り方 1		業界、会社にあった動機作り			
	15	志望動機の作り方 2		業界、会社にあった動機作り			
	16	自己PRの作り方1		業界、会社に合った自己PR 作り			
	17	自己PRの作り方2		業界、会社に合った自己PR 作り			
	18	自己PRの作り方3		業界、会社に合った自己PR 作り			
	19	中間テスト					
	20	履歴書作成		まとめ			
履修上の留意点 出席率が80％に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない							

授業計画(シラバス)

科目名		実践行動学Ⅱ（就職実務）		指導担当者名		①降矢 直美 ②田口 涼太	
実務経験						実務経験：	
開講時期		前期（通年）		対象学科学年		美容学科2年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数（通年）		120時間（前後期合計）		週時間数		4時間	
学習到達目標		就職活動を始める前の準備					
評価方法 評価基準		授業態度・提出物・活動状況等					
使用教材		SUCCESS					
授業外学習の方法		学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1		実践）業界、会社にあった動機作り			
	2	志望動機の作り方 2		実践）業界、会社にあった動機作り			
	3	作成書類 1		実践）加えて履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類（事務局の書類の手続き）、ポートフォリオなどの話しもしてください。＊履歴書の完成			
	4	作成書類 2					
	5	作成書類 3					
	6	企業訪問		準備、当日、事後の指導をしてください			
	7	就職試験のマナー 1		入退室			
	8	職試験のマナー 2		面接試験対策1			
	9	職試験のマナー 3		面接試験対策2			
	10	筆記試験対策 1		筆記試験について、種類や方法を知る			
	11	筆記試験対策 2		特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)			
	12	筆記試験対策 3		特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)			
	13	企業研究1		求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)			
	14	企業研究2		求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)			
	15	企業研究3		求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)			
	16	履歴書・面接試験		履歴書、入退室の確認は必須			
	17	履歴書・面接試験		履歴書、入退室の確認は必須			
	18	ポートフォリオについて		作品について			
	19	まとめ		就職活動のまとめ			
	20	レポート		レポート提出			
履修上の留意点 出席率が80％に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない							